

明海地区津波緊急避難訓練と防災訓練 報告

平成24年12月 明海地区防災連絡協議会
 実証事業推進機関：(公社) 東三河地域研究センター

■明海地区 津波緊急避難訓練

- ・明海防災連絡協議会は、H24.9に、地区内立地企業・事業所全体を対象の防災検討会で明海地区津波緊急避難計画を合意し、訓練実施の提案をした。
- ・自社構内に避難場所の見当たらない事業所従業員を、余裕のある近隣事業所が受け入れるという、共助体制を構築した。
- ・H24.8内閣府発表の大規模地震レベルであれば、明海地区内の就業者等は、発災時に地区内に避難先を見出せる可能性が大きいことが証明された。

平成24年12月7日 訓練実施

■津波緊急避難訓練 (11:00~12:00)

- 11:00 地震初動訓練 (各事業所)
- 11:20 津波一斉避難 (津波避難相互事業所)
- 12:00 津波緊急避難訓練終了

■合同防災訓練 (14:00~15:00)

- ① 救護演技【(株)デンソー】
- ② 合同消火演技【(株)デンソー・東洋製罐(株)・吉野石膏(株)・フォルクスワーゲングループジャパン(株)・(株)ジェイテクト】
- ③ 消火栓放水演技【トピー工業(株)】
- ④ 消火栓放水体験【希望企業】

■津波緊急避難訓練への参加状況

- ・避難訓練は、地区内の5地区、5グループ (サブGを入れて9グループ) で実施。
- ・参加事業所総数60社・事業所 (うち受け入れ9社・事業所)。
- ・参加人員数は、総勢1,284人 (うち社内での訓練参加者は977人)。

■合同防災訓練への参加状況

- ・平成20年から自治会が主催し、豊橋南消防署の協力を得て実施し、本年5回目である。
- ・本年は、参加企業・事業所36社、145人が参加し、救護、消火、放水などを参加企業が協働して行う訓練を実施した。

明海地区津波避難計画 グループ1の訓練状況

三河湾に面して岸壁を有し、かつ隣接する2つの大規模事業が、その敷地境界のゲートを開放して隣地の高台へ避難する訓練。越境訓練以外にもそれぞれの社内での避難訓練が並行して実施された。



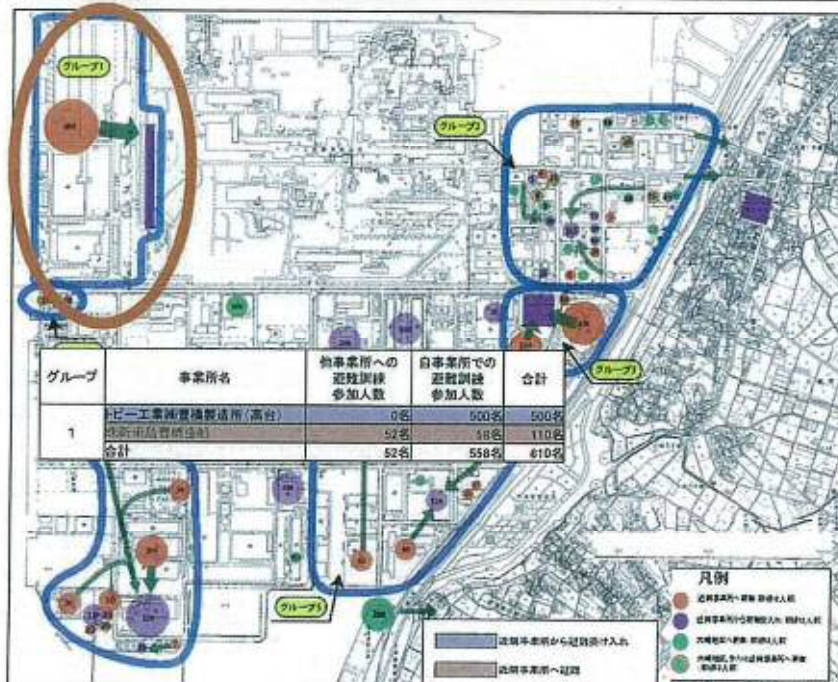
避難先のゲート付近



避難場所への移動



避難場所での待機



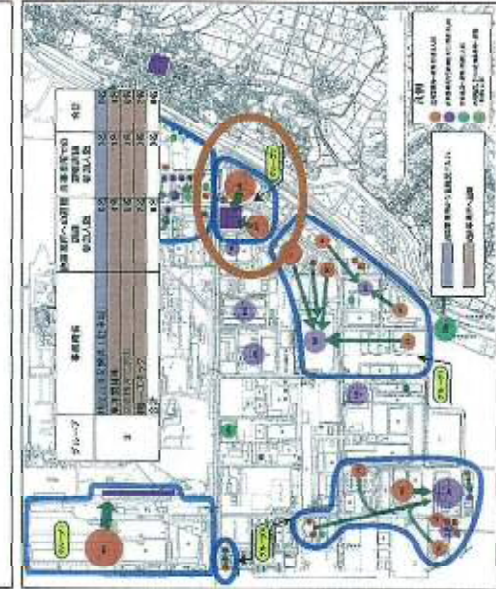
明海地区津波避難計画 グループ2の訓練状況

明海地区入口部に位置し、豊橋工業団地、東三河輸送センターそれぞれがサブグループを形成し、地区内の多数の小規模事業所に呼びかけ訓練を実施した。今後、各事業所の事情を反映した避難計画の具体化が期待されている。



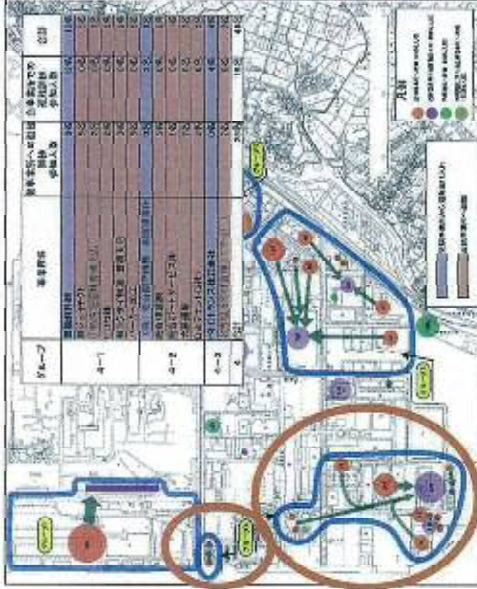
明海地区津波避難計画 グループ3の訓練状況

比較的多人数の就業者を擁する事業所で、自社の危険物や避難スペースの確保難から、近隣の高台(IP+5m)の駐車場に避難する訓練を実施した。



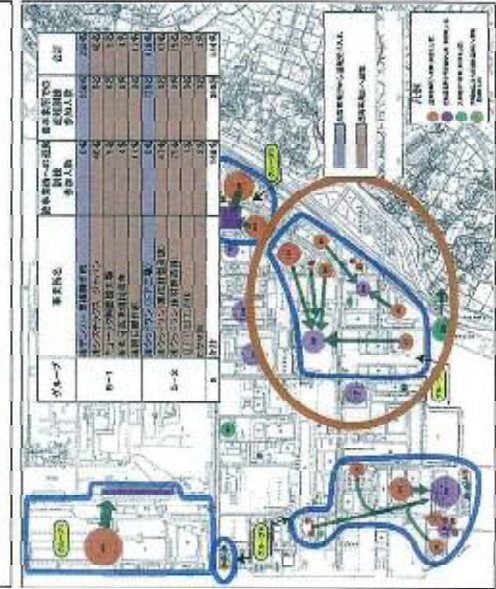
明海地区津波避難計画 グループ4の訓練状況

明海地区の南西部の水際線に位置するため、津波の危険性は高い。地区内の高層サイロや複数の高層ビルのある事務所への避難訓練を実施した。



明海地区津波避難計画 グループ5の訓練状況

避難スペースに余裕のある大規模事業所に、周辺の多数の就業者が避難する訓練を実施した。相互に関係のある事業所向、同一企業の異なる事業所間の避難訓練も同時に実施された。



平成24年12月7日 明海地区合同防災訓練
救護演技・消防署合同消火演技



明海地区運営自治会・増山一二三氏挨拶



韓デンソーのバイク隊



韓デンソーによる救護演技



韓デンソー・消防署合同消火演技

企業消防団放水演技・合同送水演技



トビー工業㈱による放水演技



トビー工業㈱による放水演技



参加企業による合同送水演技



防災連絡協議会・橋井雄二会長挨拶

■計画主体:三河湾明海地区産業基地運営自治会・明海地区防災連絡協議会 TEL:0532-23-0711
■実証事業推進機関:(公社)東三河地域研究センター TEL:0532-21-6647